

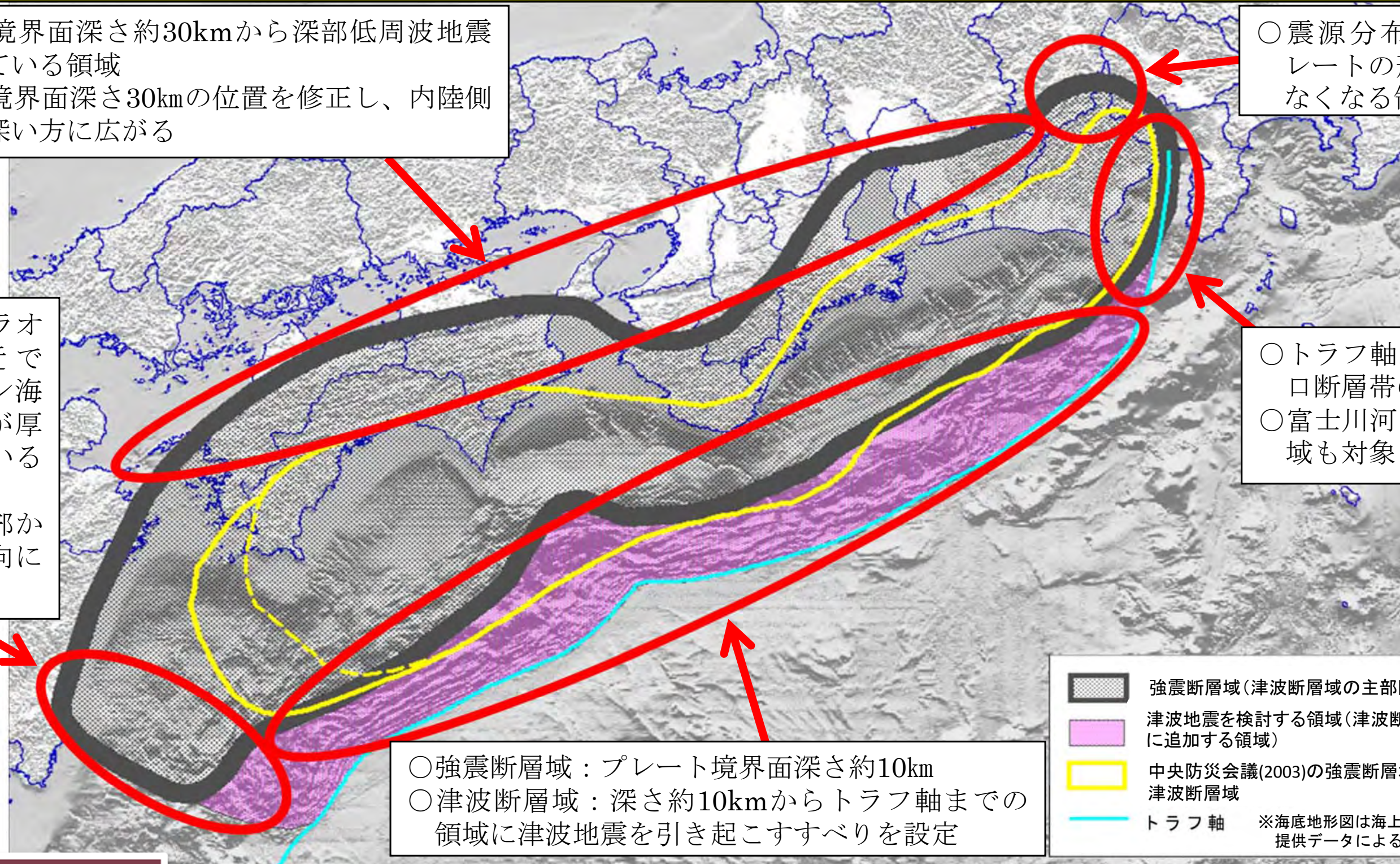
南海トラフの巨大地震の新たな想定震源断層域

○プレート境界面深さ約30kmから深部低周波地震が発生している領域
 ○プレート境界面深さ30kmの位置を修正し、内陸側のさらに深い方に広がる

○震源分布から見てプレートの形状が明瞭でなくなる領域

○九州・パラオ海嶺付近でフィリピン海プレートが厚くなっている領域
 ○日向灘北部から南西方向に拡大

○トラフ軸から富士川河口断層帯の北端
 ○富士川河口断層帯の領域も対象とする



○強震断層域：プレート境界面深さ約10km
 ○津波断層域：深さ約10kmからトラフ軸までの領域に津波地震を引き起こすすべりを設定

強震断層域(津波断層域の主部断層)
 津波地震を検討する領域(津波断層域に追加する領域)
 中央防災会議(2003)の強震断層域、津波断層域
 トラフ軸

※海底地形図は海上保安庁提供データによる

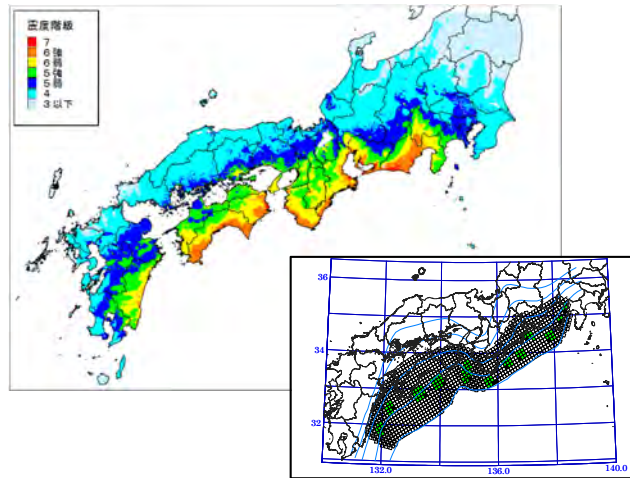
地震の規模(確定値)

	南海トラフの巨大地震(強震断層域)	南海トラフの巨大地震(津波断層域)	参考			
			2011年東北地方太平洋沖地震	2004年スマトラ島沖地震	2010年チリ中部地震	中央防災会議(2003)強震断層域
面積	約11万km ²	約14万km ²	約10万km ² (約500km×約200km)	約18万km ² (約1200km×約150km)	約6万km ² (約400km×約140km)	約6.1万km ²
モーメント マグニチュード Mw	9.0	9.1	9.0 (気象庁)	9.1 (Ammon et al., 2005) [9.0 (理科年表)]	8.7 (Pulido et al., in press) [8.8(理科年表)]	8.7

南海トラフの巨大地震による最大クラスの震度分布

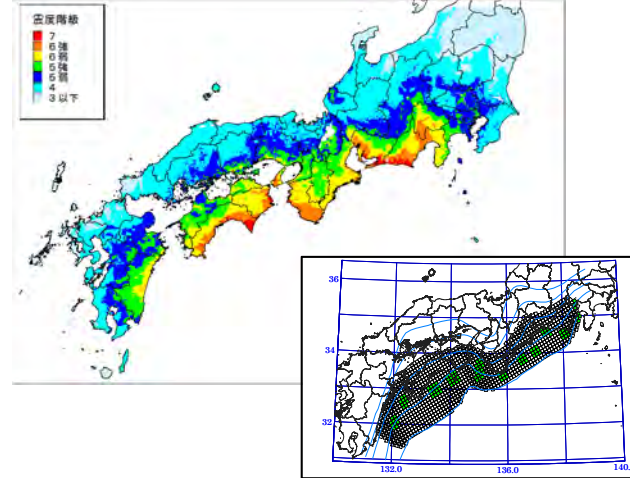
強震波形計算による震度分布

基本ケース



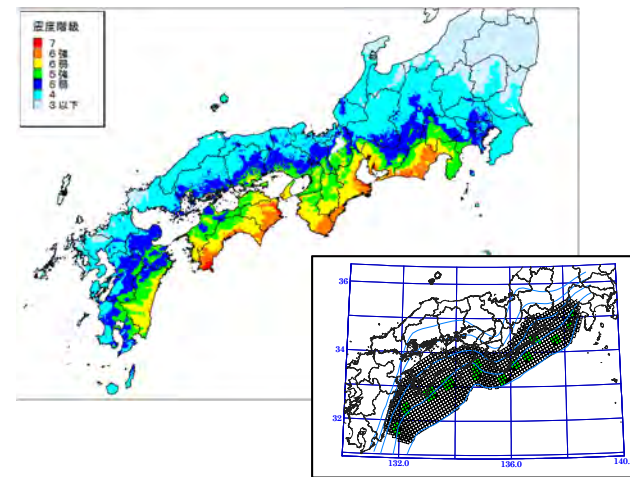
強震動生成域の配置

東側ケース



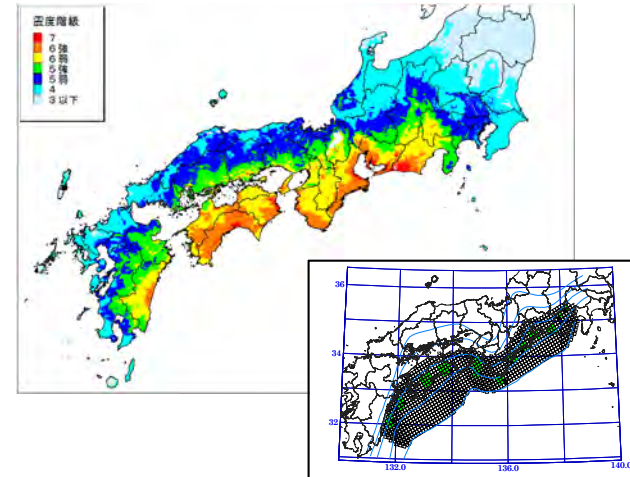
強震動生成域の配置

西側ケース



強震動生成域の配置

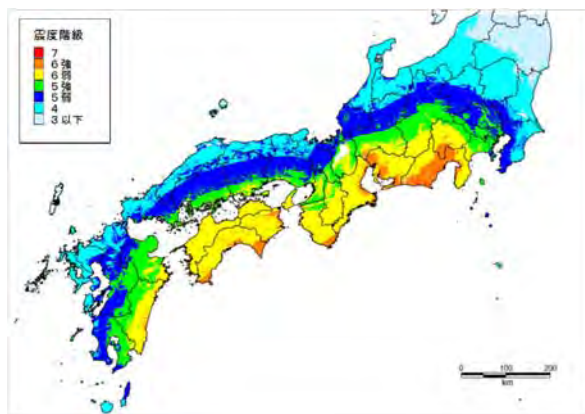
陸側ケース



強震動生成域の配置

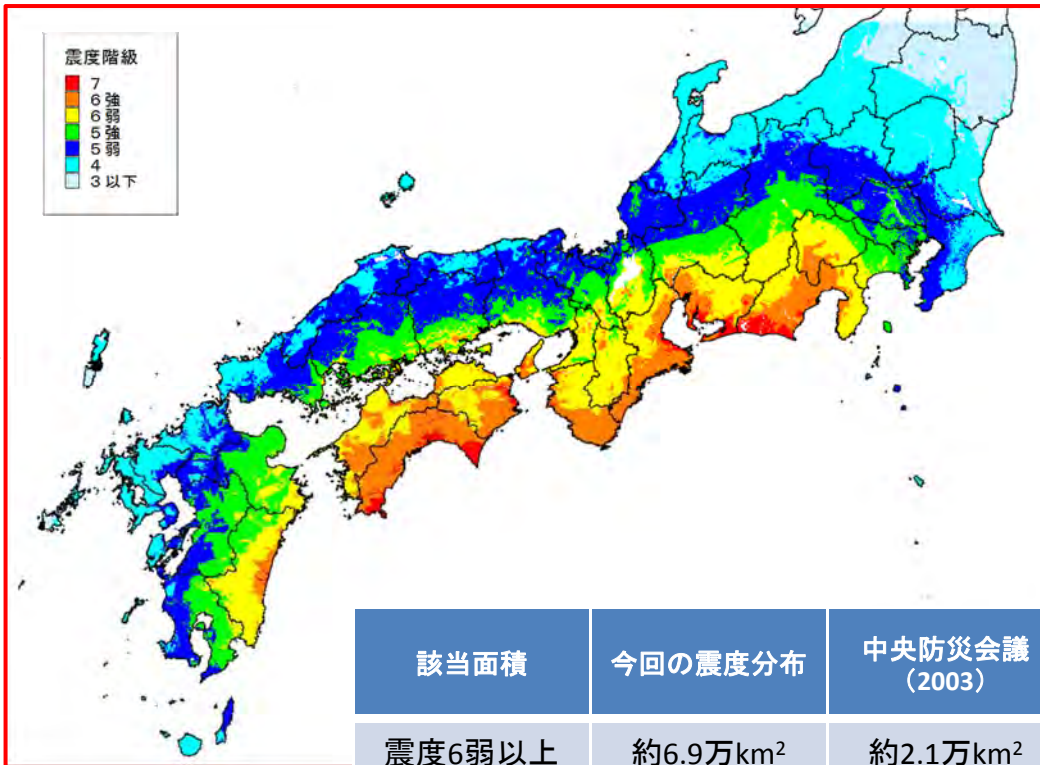


経験的手法による震度分布



【最大クラスの震度分布】

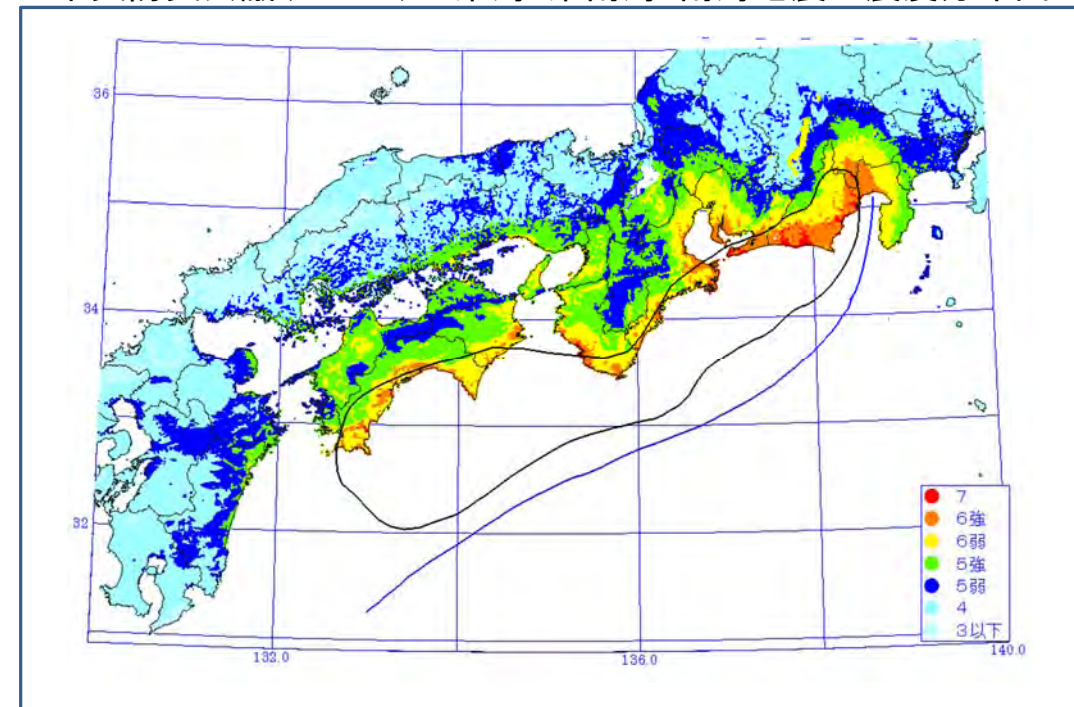
強震波形4ケースと経験的手法の最大震度重ね合わせ



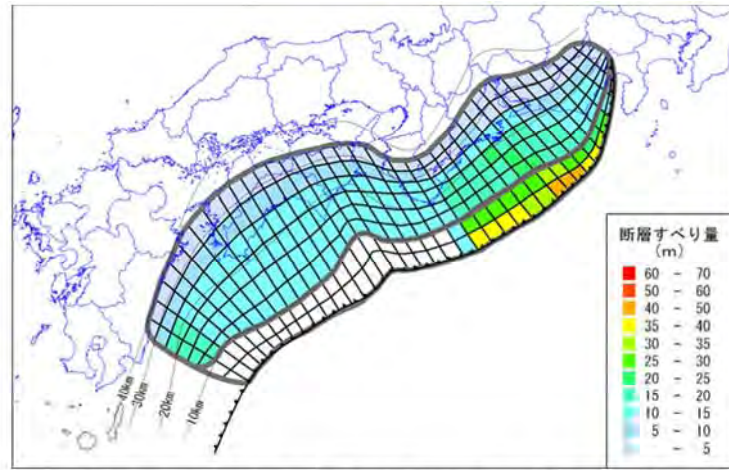
該当面積	今回の震度分布	中央防災会議(2003)
震度6弱以上	約6.9万km ²	約2.1万km ²
震度6強以上	約2.8万km ²	約0.5万km ²
震度7	約0.7万km ²	約0.03万km ²

【参考】

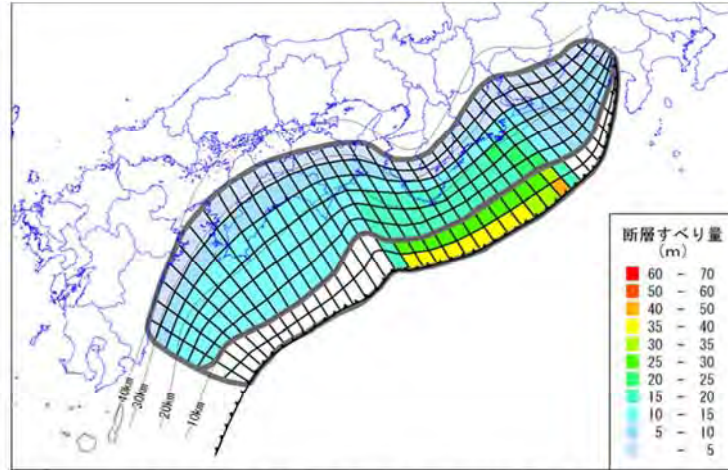
中央防災会議(2003)の東海・東南海・南海地震の震度分布図



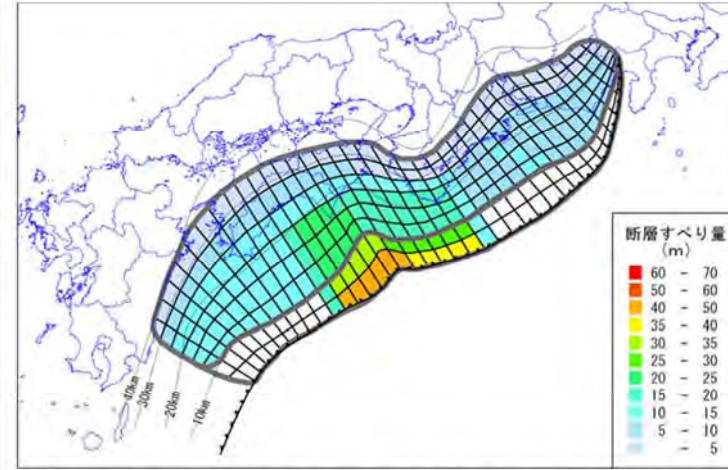
津波断層モデルのすべり量の設定



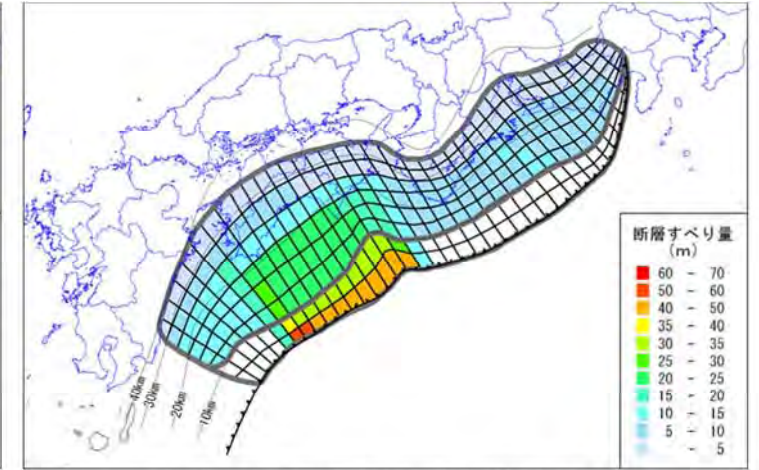
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



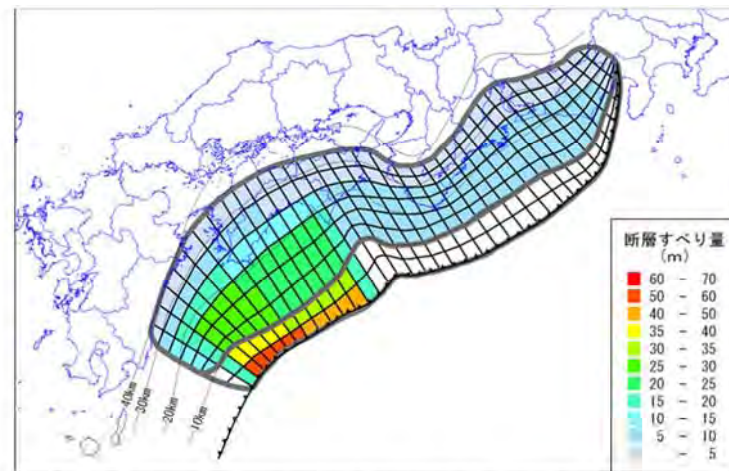
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



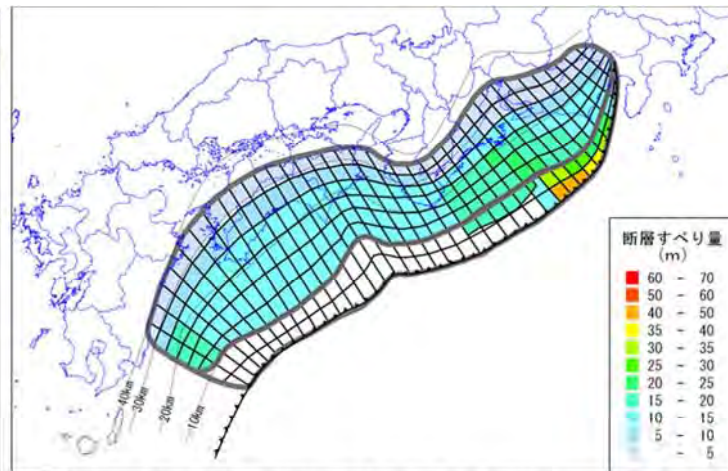
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



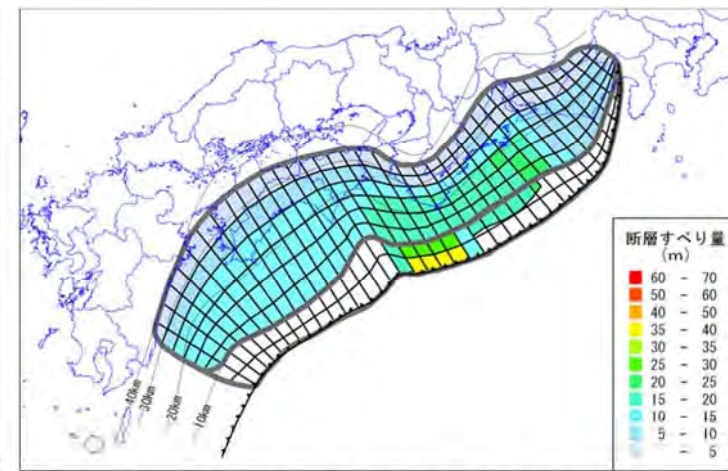
【パターン④ 四国沖に大すべり域を設定】



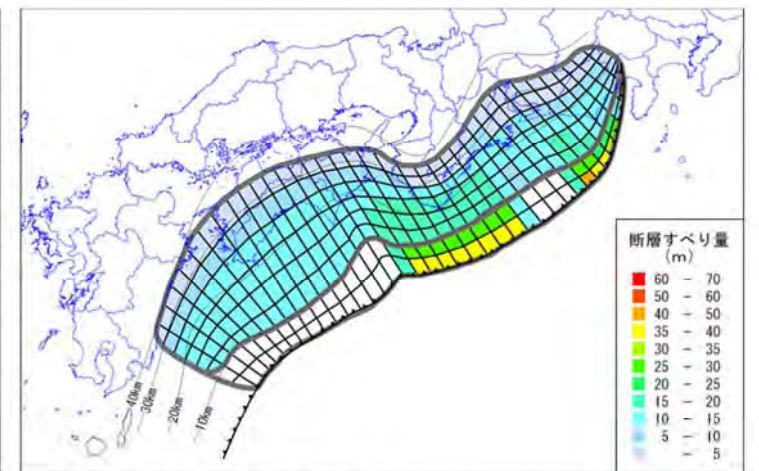
【パターン⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



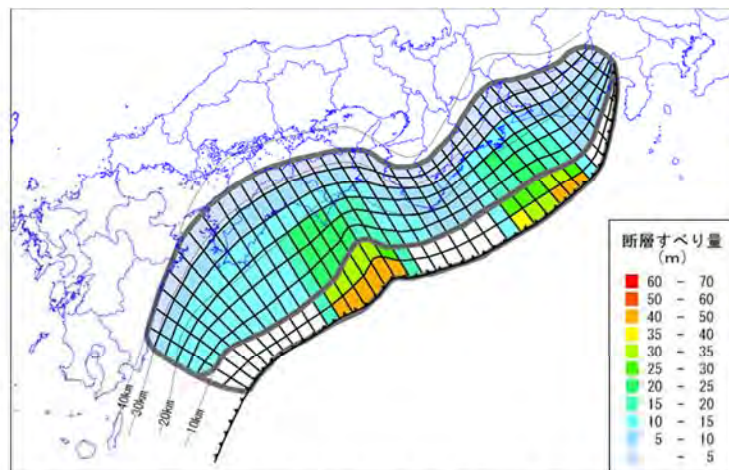
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



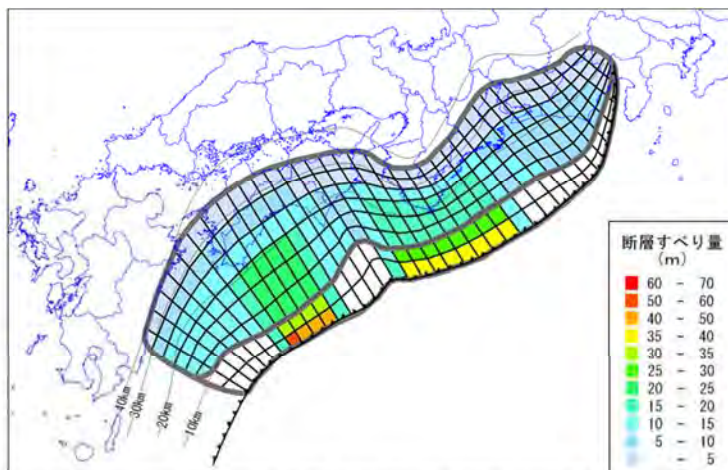
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



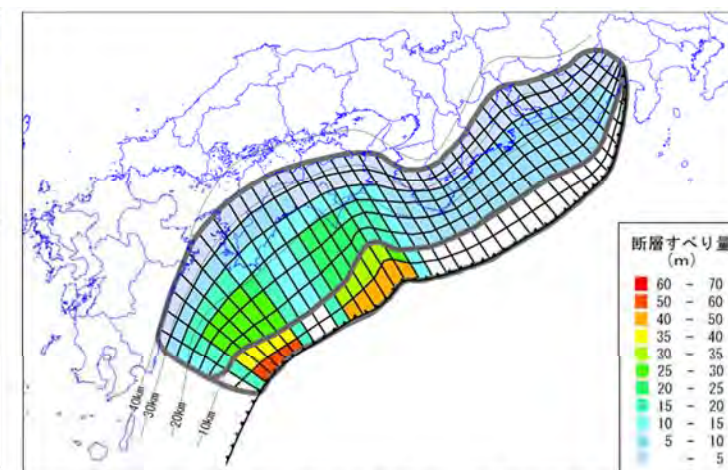
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、室戸岬沖に大すべり域を設定】

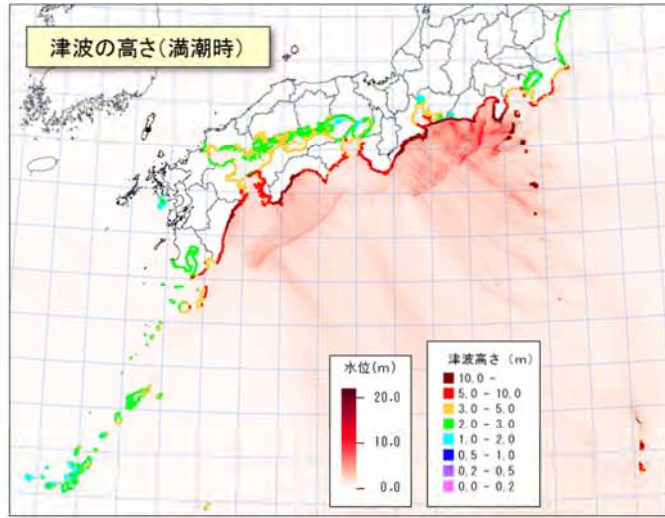


【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、足摺岬沖に大すべり域を設定】

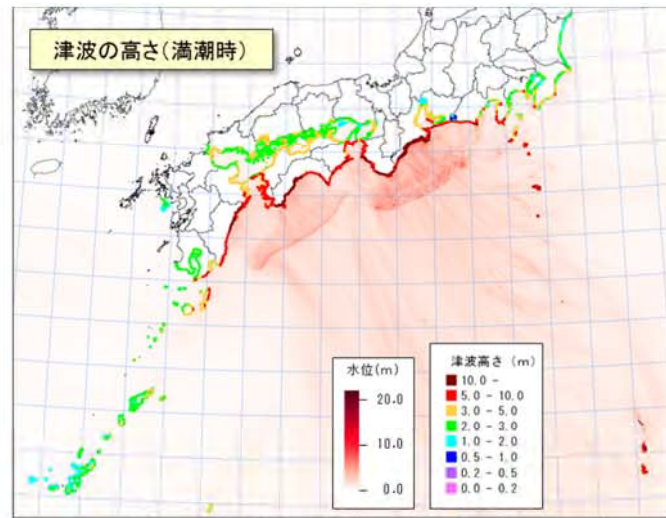


【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】

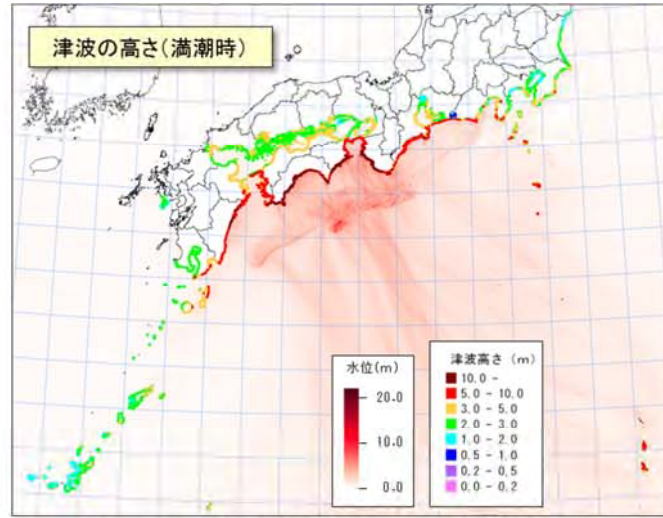
南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高(分布地図) <満潮位>



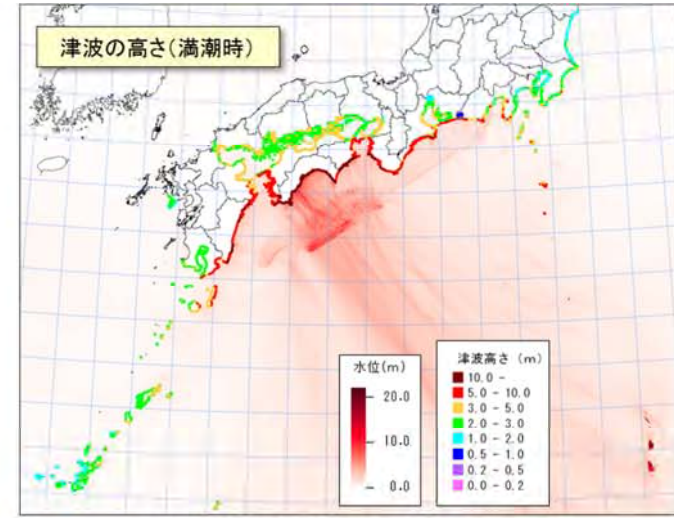
【ケース① 駿河湾~紀伊半島沖に大すべり域を設定】



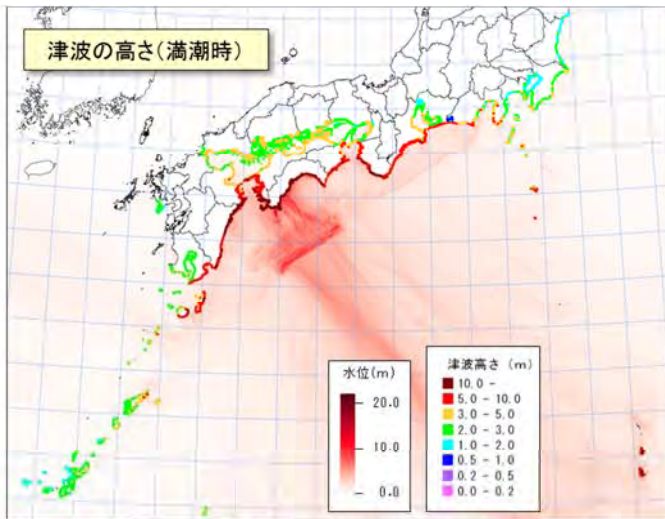
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



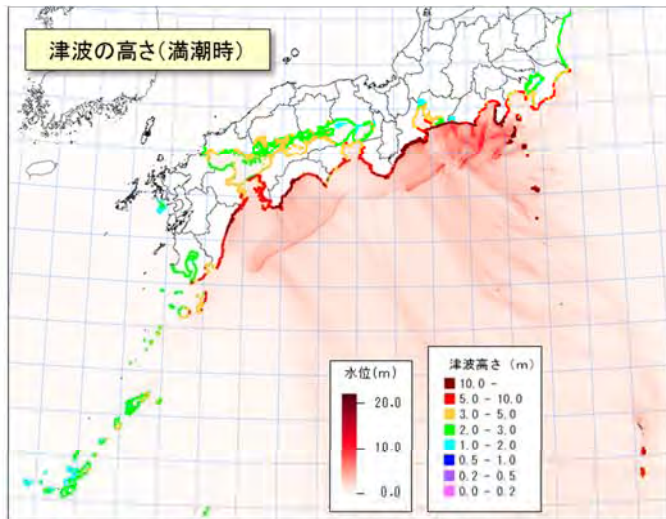
【ケース③ 紀伊半島沖~四国沖に大すべり域を設定】



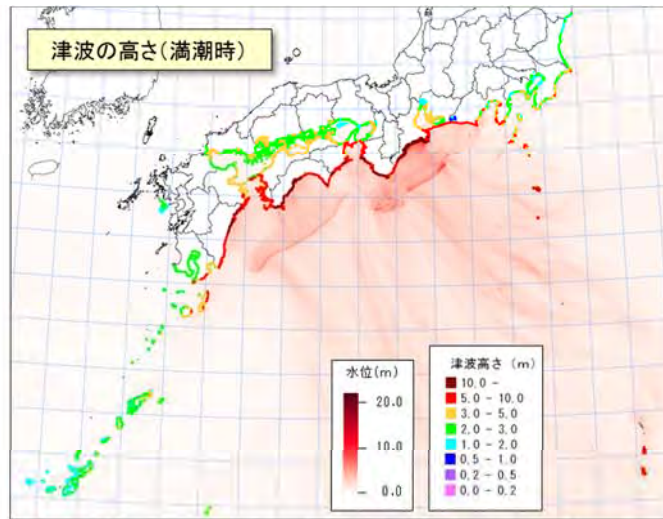
【パターン④ 四国沖に大すべり域を設定】



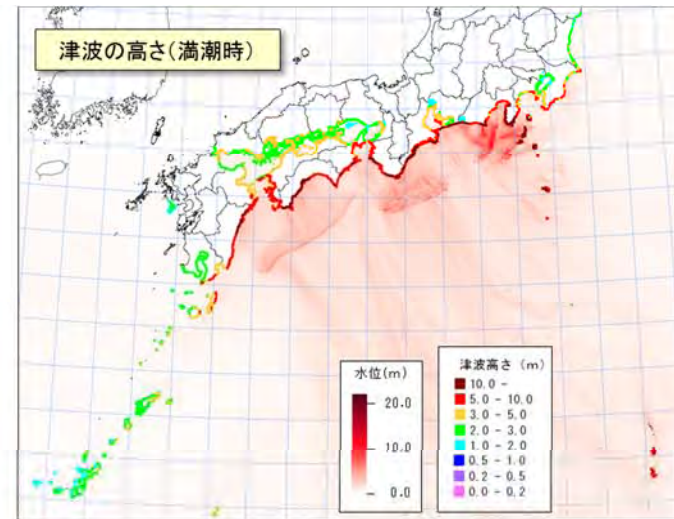
【パターン⑤ 四国沖~九州沖に大すべり域を設定】



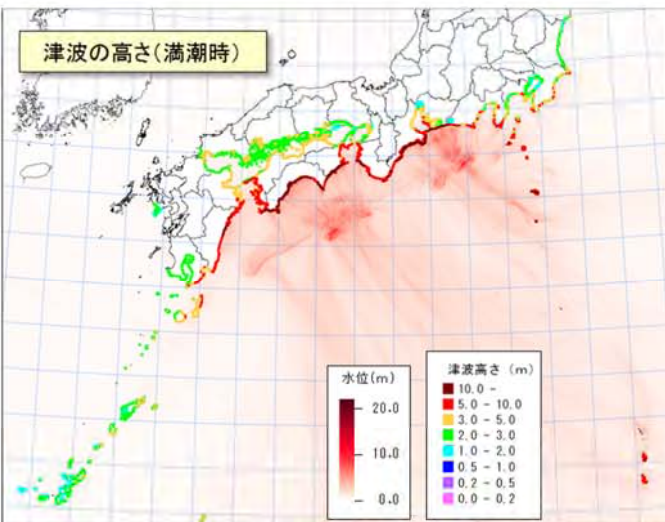
【ケース⑥ 駿河湾~紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



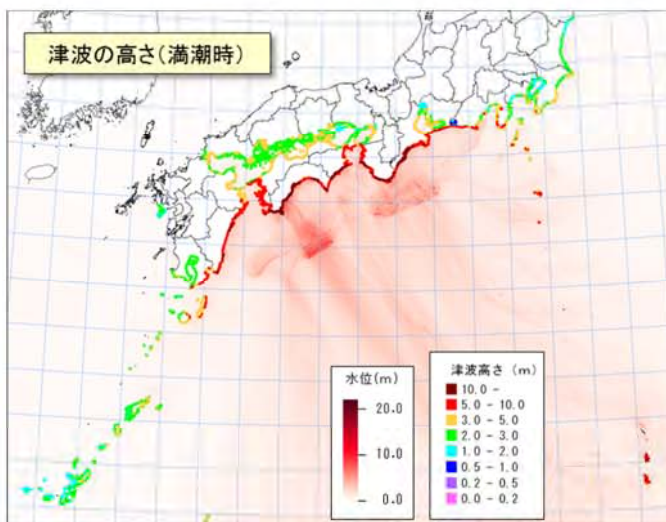
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



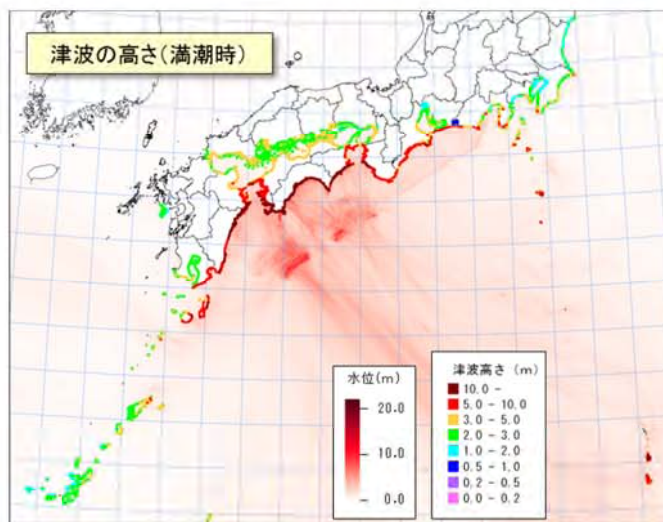
【ケース⑧ 駿河湾~愛知県東部沖、
三重県南部沖~徳島県沖に大すべり域を設定】



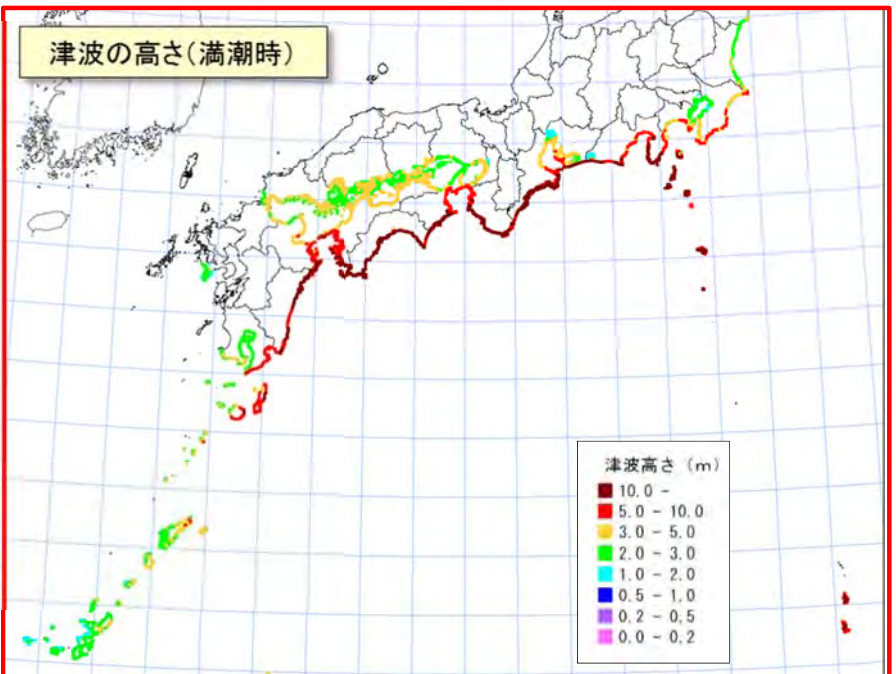
【ケース⑨ 愛知県沖~三重県沖、室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖~徳島県沖、足摺岬沖に大すべり域を設定】

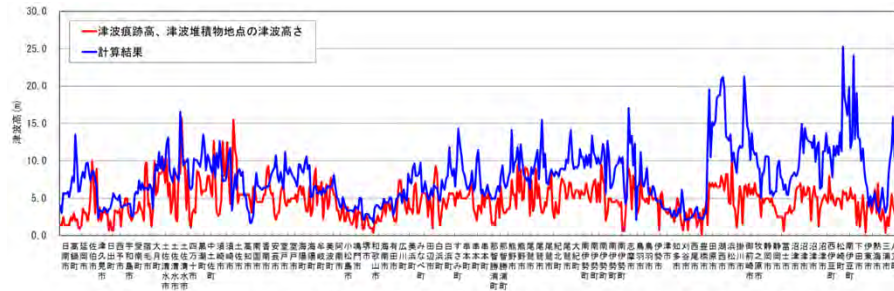


【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】

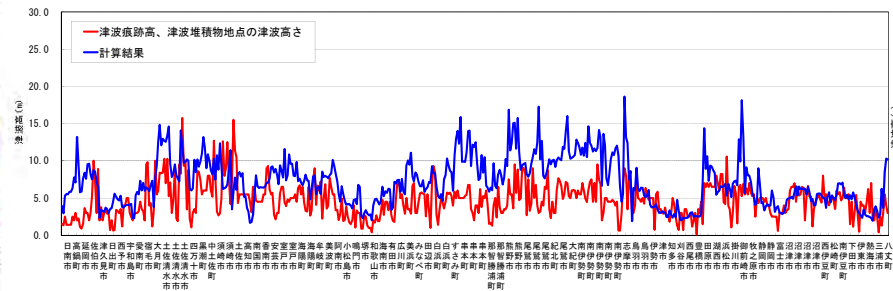


最大クラスの津波高
(各ケースの最大重ね合わせ)

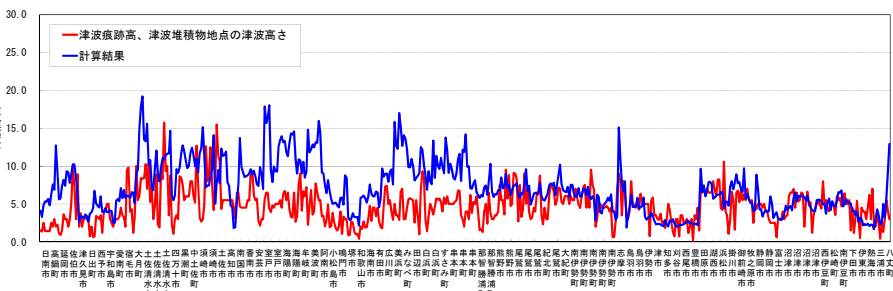
南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高(過去の痕跡高との比較) <満潮位>



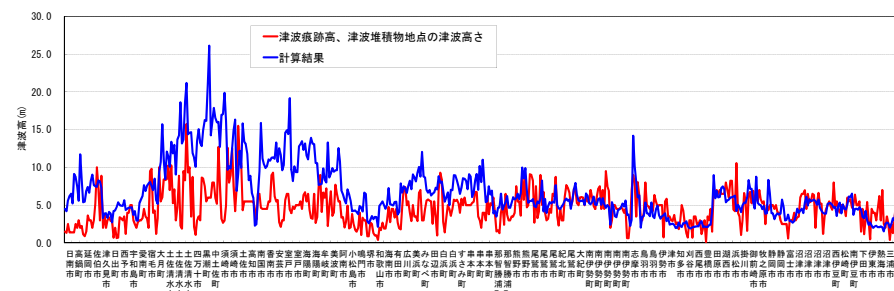
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



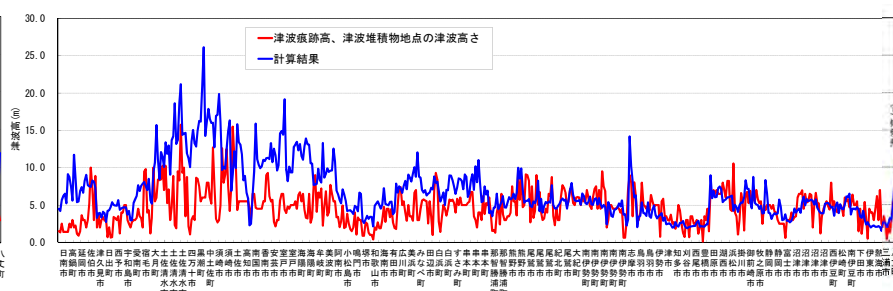
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



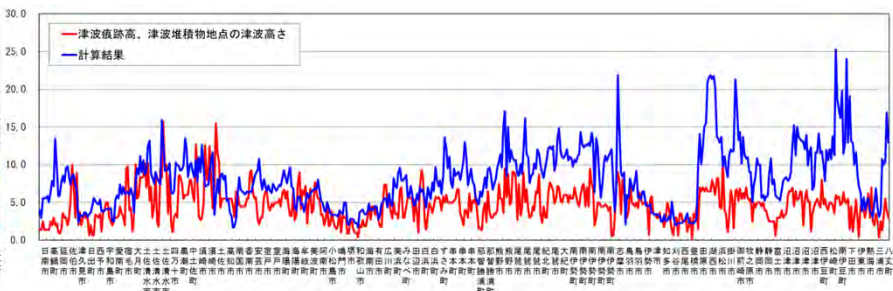
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



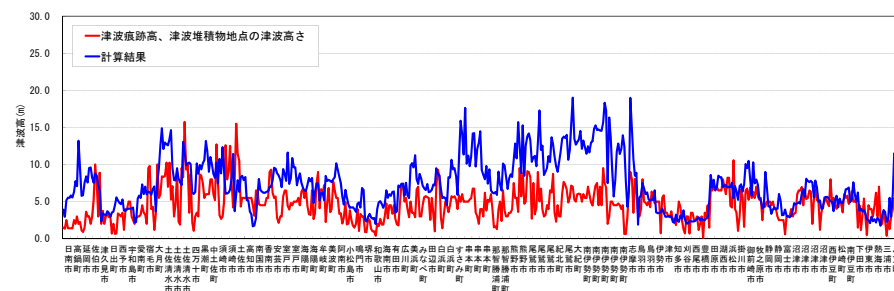
【ケース④ 四国沖に大すべり域を設定】



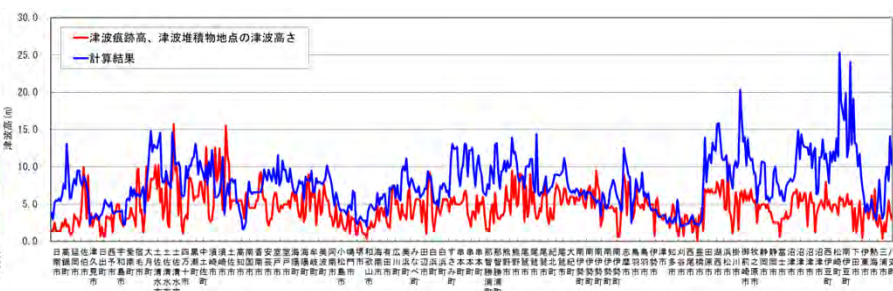
【ケース⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



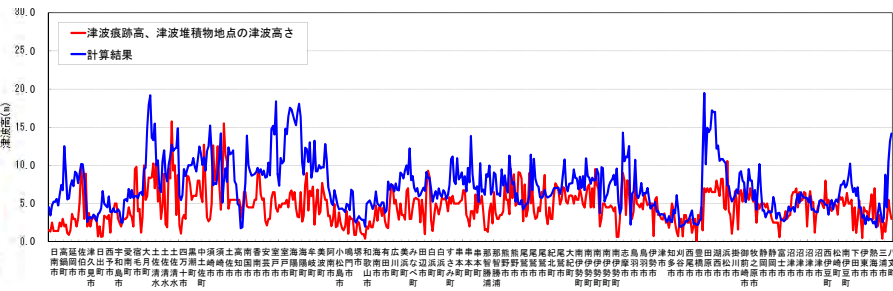
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



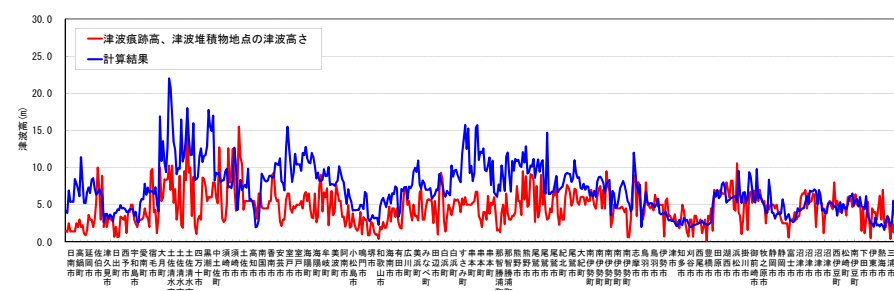
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



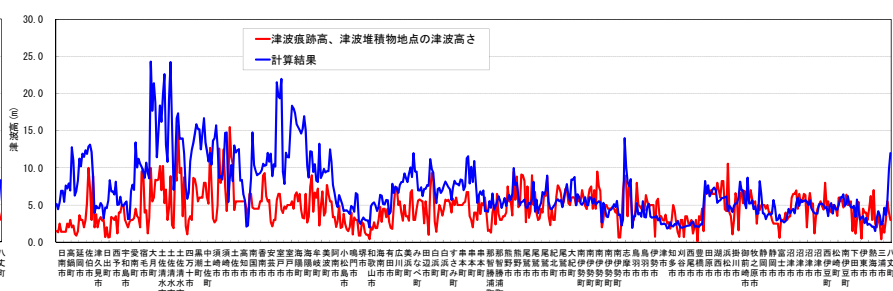
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖
三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



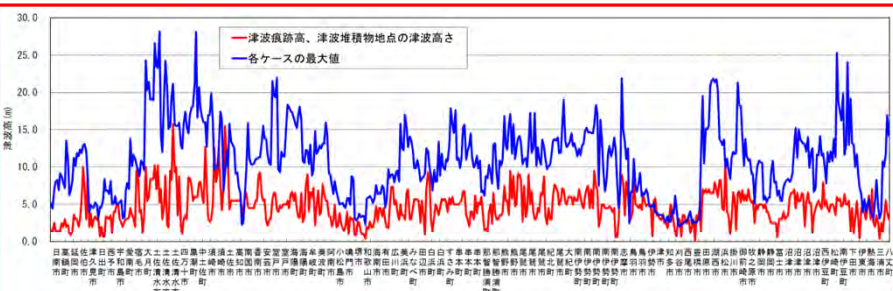
【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、
室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、
足摺岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】

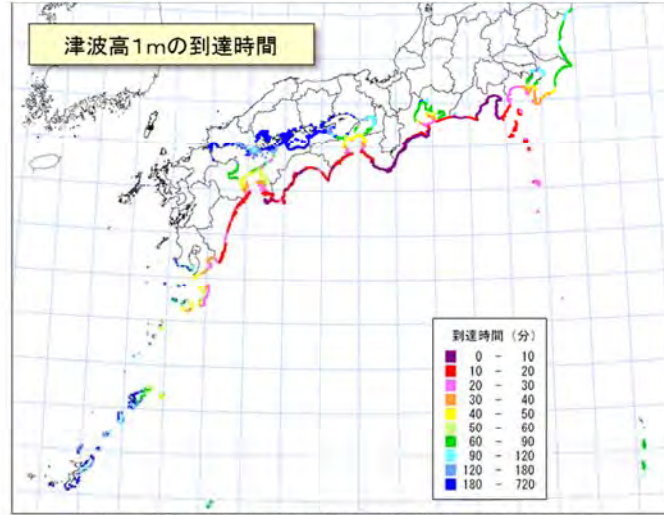


【最大クラスの津波高(各ケースの最大重ね合わせ)】

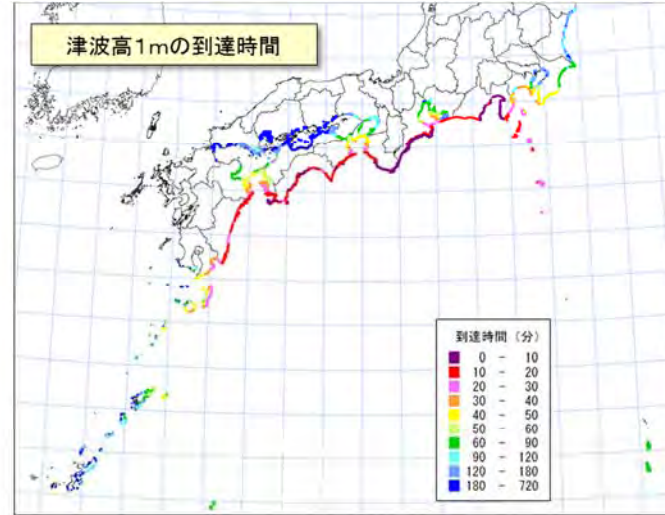
この資料は、計算結果と過去の津波の痕跡を比較したものであるため、計算結果(青いグラフ)は、すべての地点をプロットしているのではなく、痕跡高等があるところのみをプロットしている。したがって、必ずしも最高となる地点がプロットされていない。

そのため、全体的な傾向を把握するためには、添付資料⑩「海岸の津波の高さグラフ(満潮位)」を参照する必要がある。

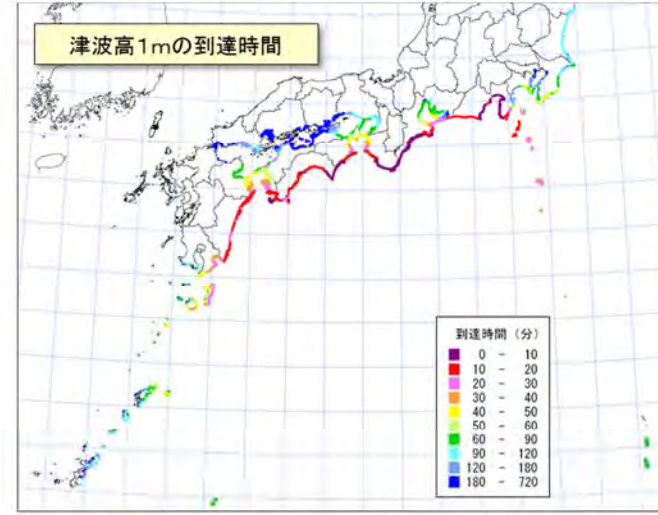
津波高1mの海岸における到達時間



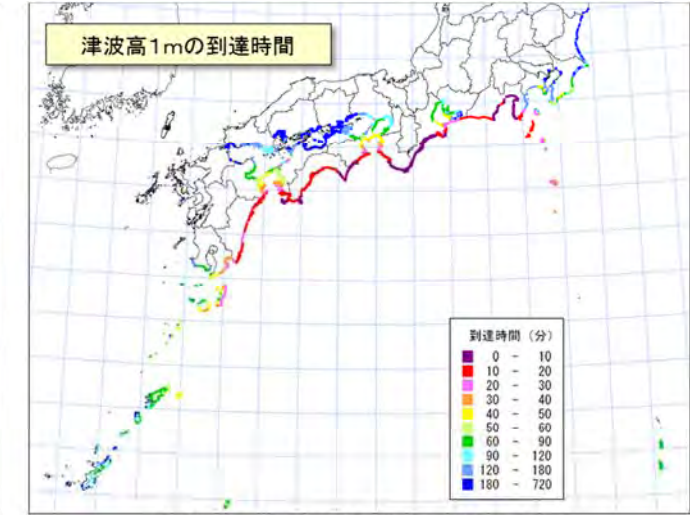
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



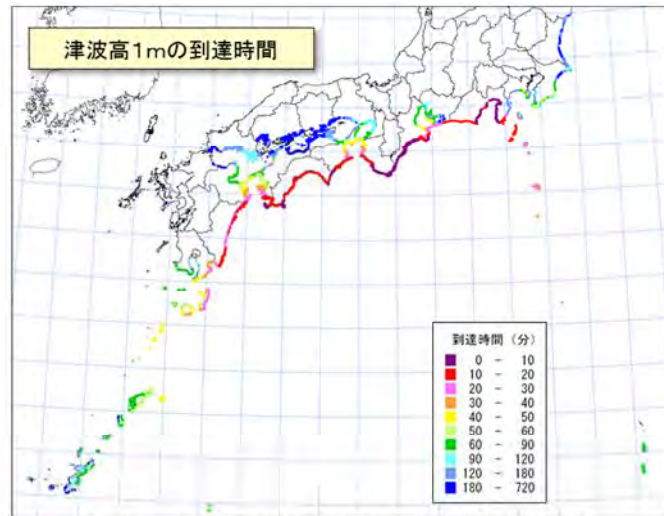
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



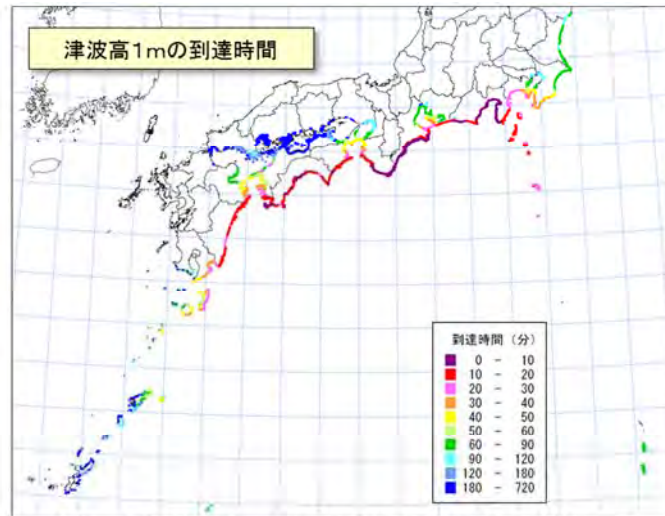
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



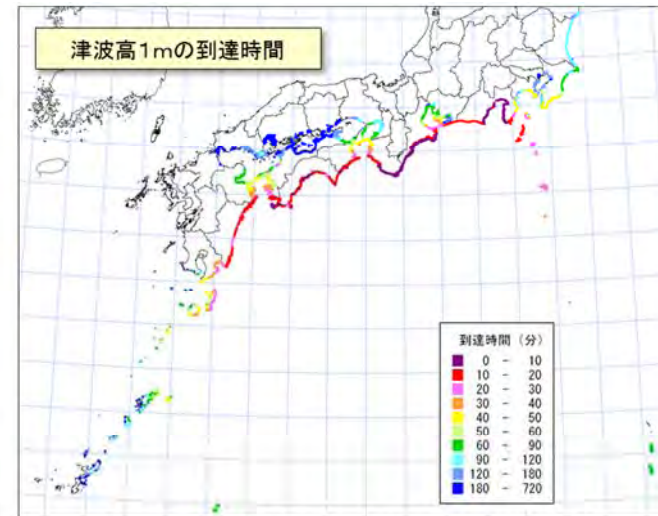
【パターン④ 四国沖に大すべり域を設定】



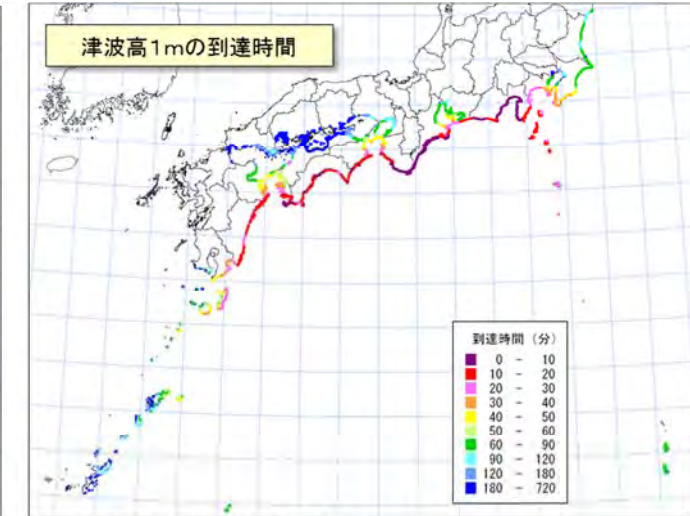
【パターン⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



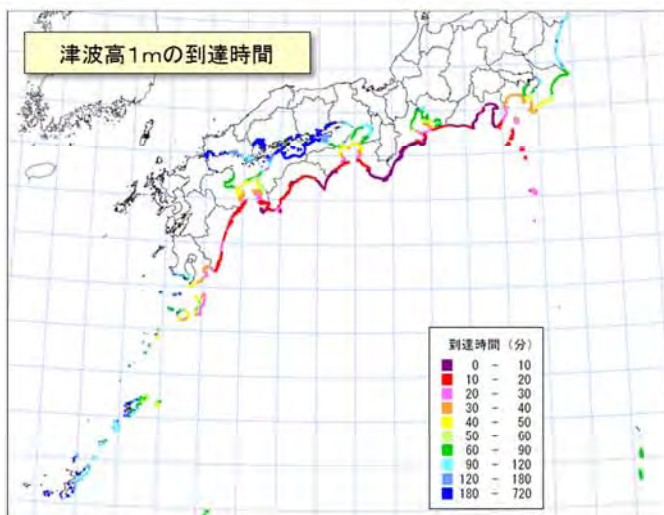
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



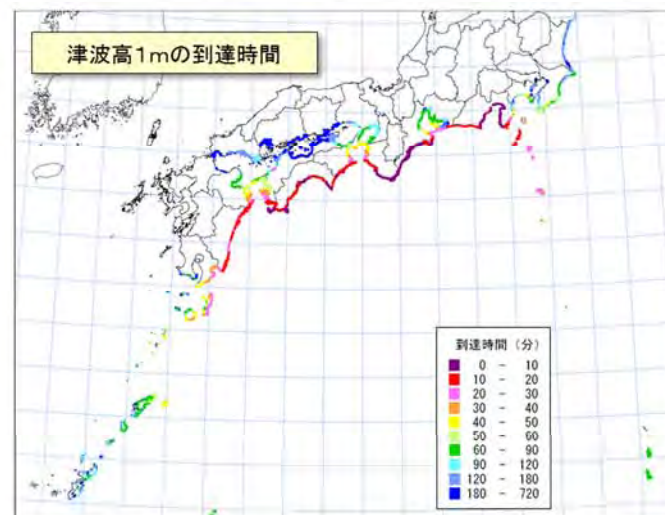
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



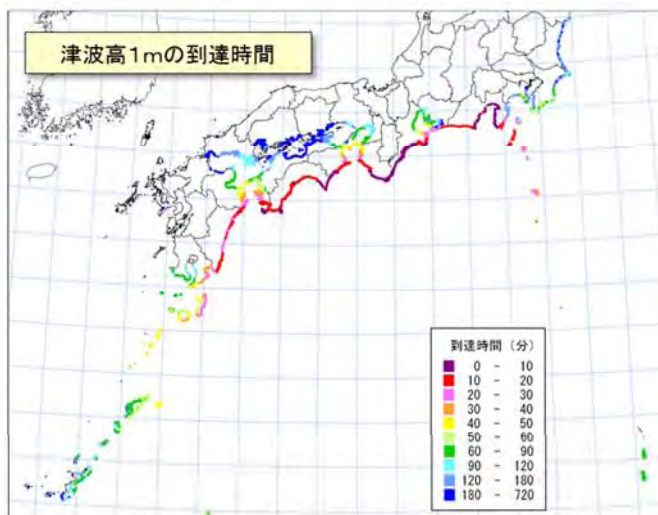
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



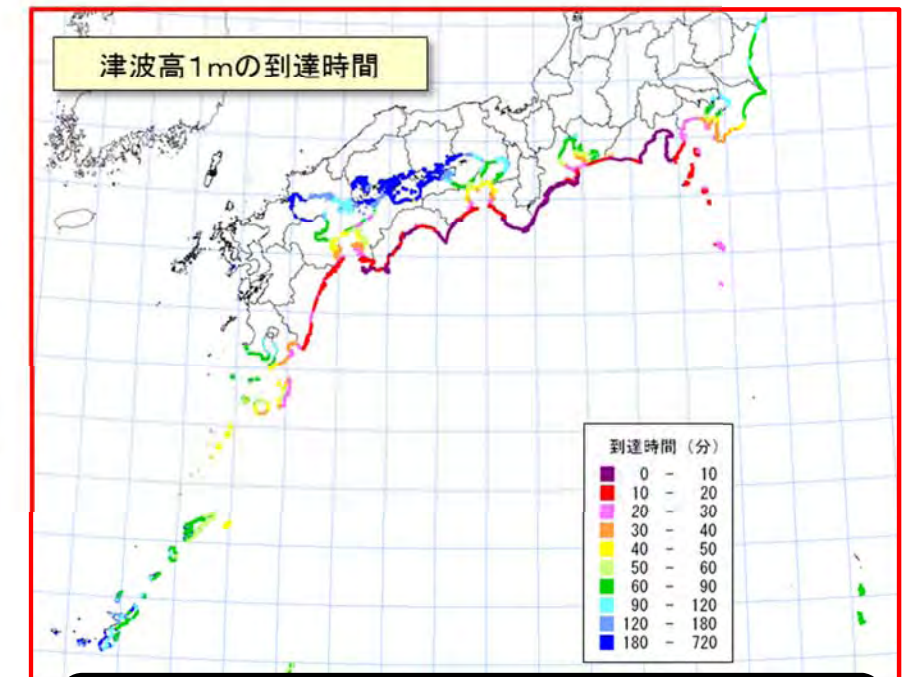
【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、足摺岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】



津波高1mの到達時間
(各ケースの津波高1mの到達時間)